

二〇二五年六月二〇日

通し土間涼しき風の通ひけり
籐椅子に凭れ老母の一日暮る
明易や潮騒に覚む旅枕

藤井
あひる
やよい

二〇二五年六月一九日

屯して万華鏡めく鯉涼し

澄子

二〇二五年六月一八日

植田いま風に溢るる田水かな

せいじ

二〇二五年六月一七日

揚羽蝶ステンドグラスめきにけり
夏帽のあごひも絞る砂丘かな
ひとり居の憚ることのなき昼寝
バネのごと蔓伸ぶ風の鉄線花

藤井
なつき
たか子
むべ

二〇二五年六月一六日

路地親し道にはみ出す濃紫陽花

せいじ

二〇二五年六月一五日

楽奏づごと岩走る清水かな

山椒

二〇二五年六月一四日

風通ふ畳廊下へ籐寝椅子
螢火のぼつりぼつりと峽暮るる

澄子
うつぎ

毎日句会みのる選・二〇二五年六月二二日